

2023年3月期

決算説明会

2023年6月2日



時間	内容	担当
16:00	開会・出席者紹介	司会
16:05	決算概況について	社長 羽鳥 雅孝
16:40	決算短信について	財務部長 山本 義明
16:45	質疑応答	当社出席者
17:00	閉会	司会

決算概況について

2023年3月期 実績 前期比

【連結】

(単位:百万円)

	22年3月期 実績	23年3月期 実績	差異	増減率
情報・印刷・産業システム機材	20,451	20,655	204	1.0%
金融汎用・選挙システム機材	7,245	7,174	△71	△1.0%
紙 ・ 紙 加 工 品	8,241	8,970	729	8.8%
不動産賃貸・リース事業等	274	270	△4	△1.5%
売上高合計	36,213	37,072	859	2.4%
営業利益	1,746	2,619	873	50.0%
経常利益	1,848	2,705	857	46.4%
純利益	981	1,762	781	79.5%
1株利益	141円53銭	258円66銭		

*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記しています。

2023年3月期 実績 前期比

【 単 体 】

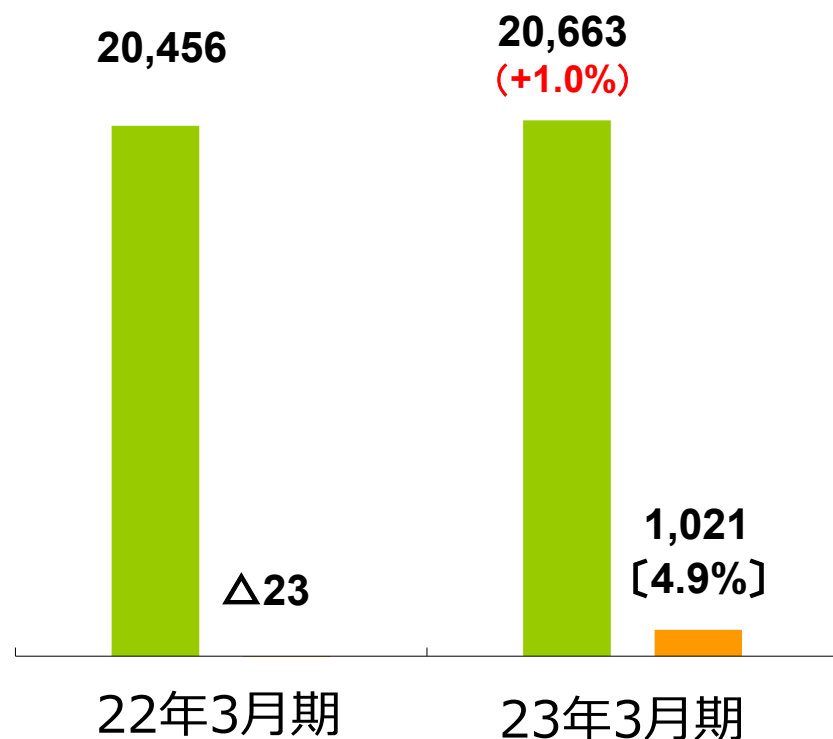
(単位:百万円)

	22年3月期 実績	23年3月期 実績	差 異	増 減 率
情報・産業システム機材	9,059	8,710	△349	△3.9%
印刷システム機材	8,960	9,139	179	2.0%
金融汎用システム機材	1,052	1,181	129	12.3%
選挙システム機材	6,106	5,866	△240	△3.9%
紙 ・ 紙 加 工 品	4,645	5,234	589	12.7%
売上高合計	29,824	30,131	307	1.0%
営業利益	1,137	1,468	331	29.1%
経常利益	1,277	1,607	330	25.8%
当期利益	863	1,069	206	23.8%
1株利益	124円48銭	156円93銭		

■ 情報・印刷・産業システム機材

売上高・営業利益

単位：百万円
〔 〕：営業利益率
()：前期比増減



ポイント

売上高

*セグメント間の内部売上高を含む

売上高：206億63百万円（前期比1.0%増）

■ 情報システム機材：

- ・文書のデジタル化事業は官公庁・自治体および民間企業からの受注が堅調に推移し増収。
- ・業務用ろ過フィルターの販売も順調に推移。
- ・工業用検査機器の販売は減収。

■ 印刷システム機材：

- ・印刷材料の販売が順調に推移。
- ・印刷機器についてもレーザー加工機などの販売が伸長。

営業利益

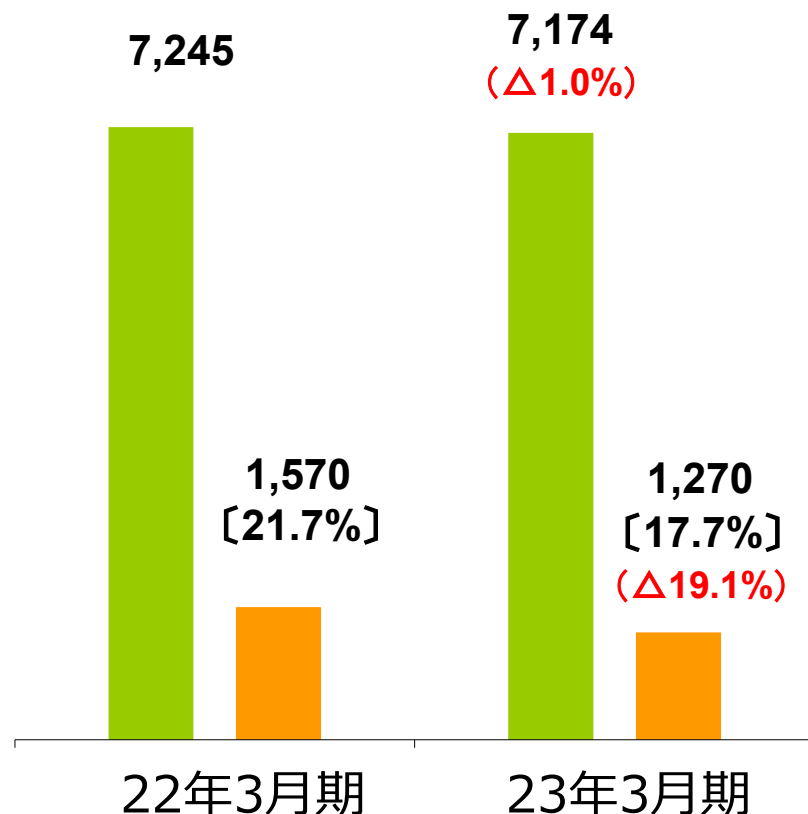
**営業利益：10億21百万円
（前期は23百万円の営業損失）**

- 文書のデジタル事業の増収と高採算な印刷機の販売が伸長し、増益。

■ 金融汎用・選挙システム機材

売上高・営業利益

単位：百万円
〔 〕：営業利益率
()：前期比増減



ポイント

売上高

* セグメント間の内部売上高を含む

売上高：71億74百万円（前期比1.0%減）

■ 選挙システム機材：

・参議院選挙や全国の地方選挙向けに選挙機器などの販売が順調に推移したが、前年度の実績に及ばず減収。

■ 金融汎用システム機材：

- ・貨幣処理機器の販売が金融機関の投資抑制などの影響により低調に推移。
- ・金融機関の事務集中化に伴うシステムなどの販売が伸長。

営業利益

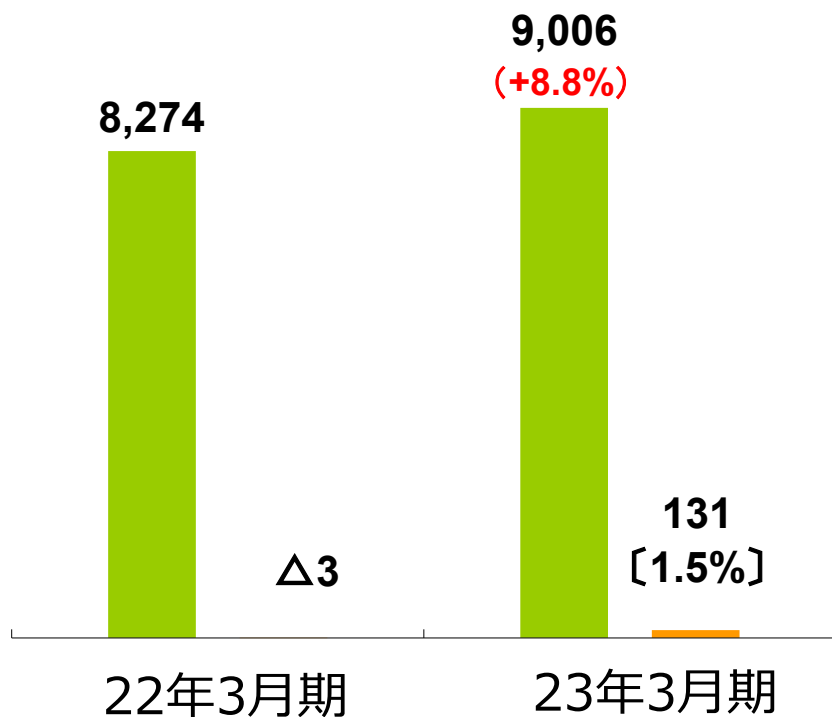
営業利益：12億70百万円（前期比19.1%減）

- 選挙システム機材の減収影響により減益。

■ 紙・紙加工品

売上高・営業利益

単位：百万円
〔 〕：営業利益率
()：前期比増減



ポイント

売上高

*セグメント間の内部売上高を含む

売上高：90億6百万円（前期比8.8%増）

- ・医薬品や化粧品向け紙器用板紙の販売が伸長。
- ・印刷用紙や情報用紙の販売も概ね順調に推移。

営業利益

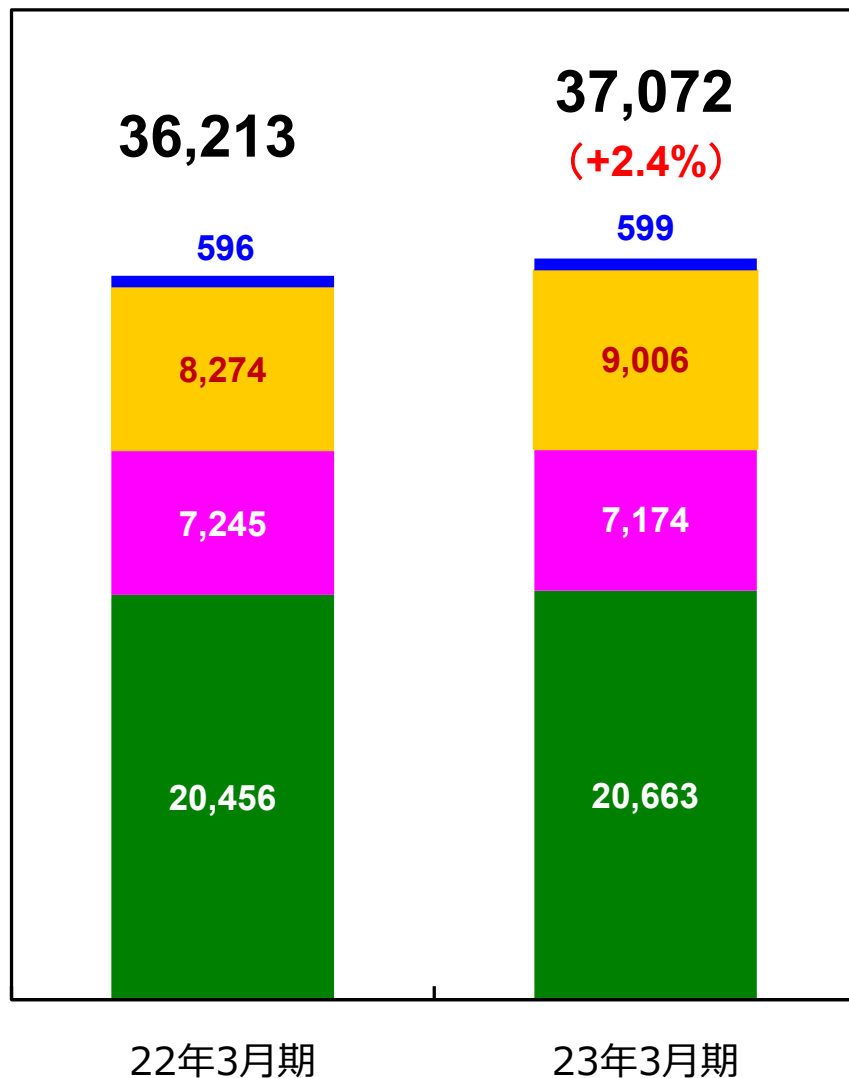
営業利益：1億31百万円（前期は3百万円の営業損失）

- 価格修正による収益性の改善で増益。

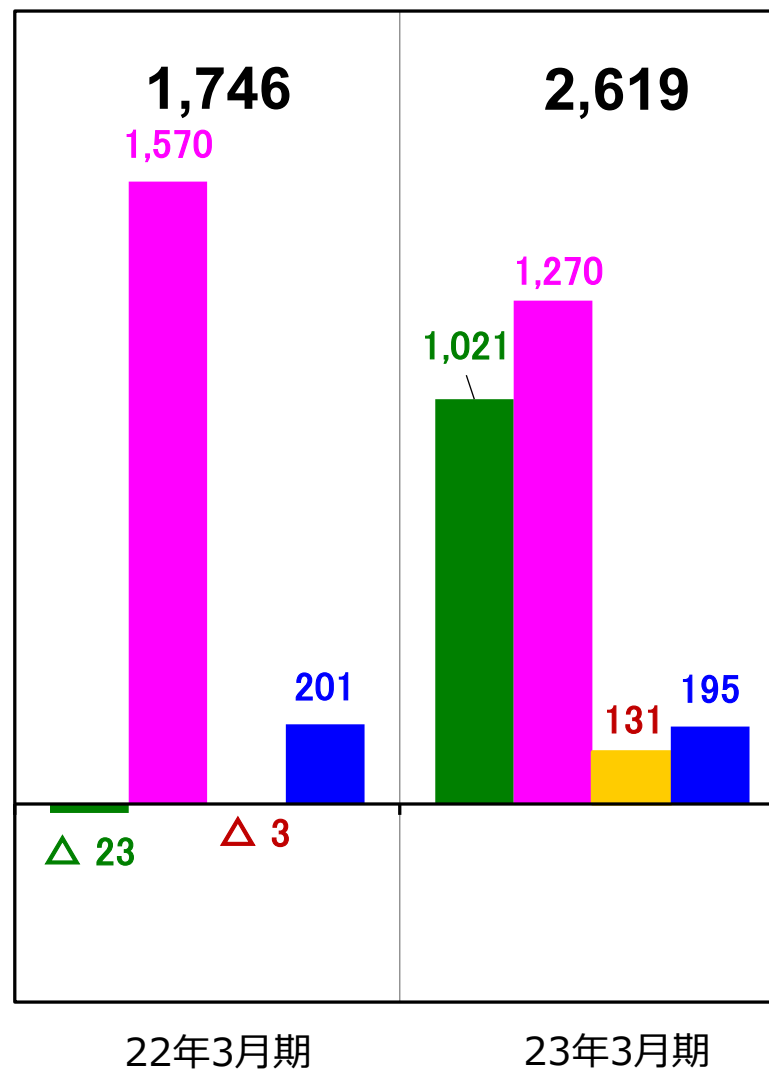
セグメント別売上高・営業利益（前年同期比）

売上高

* セグメント間の内部売上高を含む



営業利益



単位：百万円
()：前年同期比

- 情報・印刷・産業システム機材
- 金融汎用・選挙システム機材
- 紙・紙加工品
- 不動産賃貸・リース事業等

業績見通し

【2024年3月期の見通し】

■情報・印刷・産業システム機材

文書デジタル化需要拡大、ミクロフィルター・工業用検査機材・多目的プリンターなどの拡販に注力

●売上高見通し（連結通期）：208億15百万円（前年比1億60百万円増）

■金融汎用・選挙システム機材

新紙幣発行に伴う紙幣処理機器への対応
選挙システムは前年大型選挙需要の反動減

●売上高見通し（連結通期）：50億16百万円（前年比21億58百万円減）

■紙・紙加工品：堅調な需要が見込まれる紙器用板紙拡販に注力

●売上高見通し（連結通期）：93億14百万円（前年比3億44百万円増）

2024年3月期 見通し 前年比

【連結】

(単位：百万円)

	23年3月期 実績	24年3月期 見通し	差異	増減率
情報・印刷・産業システム機材	20,655	20,815	160	0.8%
金融汎用・選挙システム機材	7,174	5,016	△2,158	△30.1%
紙 ・ 紙 加 工 品	8,970	9,314	344	3.8%
不動産賃貸・リース事業等	270	256	△14	△5.2%
売上高合計	37,072	35,402	△1,670	△4.5%
営業利益	2,619	539	△2,080	△79.4%
経常利益	2,705	581	△2,124	△78.5%
純利益	1,762	302	△1,460	△82.9%
1株利益	258円66銭	44円32銭		

*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記しています。

2024年3月期 見通し 前年比

【 単 体 】

(単位：百万円)

	23年3月期 実績	24年3月期 見通し	差 異	増 減 率
情報・産業システム機材	8,710	8,900	190	2.2%
印刷システム機材	9,139	8,960	△179	△2.0%
金融汎用システム機材	1,181	2,040	859	72.7%
選挙システム機材	5,866	2,800	△3,066	△52.3%
紙 ・ 紙 加 工 品	5,234	5,300	66	1.3%
売上高合計	30,131	28,000	△2,131	△7.1%
営業利益	1,468	152	△1,316	△89.6%
経常利益	1,607	268	△1,339	△83.3%
当期利益	1,069	262	△807	△75.5%
1株利益	156円93銭	38円45銭		

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移

(単位：百万円未満切捨て)

		2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 (予想)
設備投資 (有形のみ)	連結	311	219	574	258	219	273	228	718	160	758	201	346
	単体	29	59	43	21	83	50	27	110	34	81	62	27
設備投資 (有形+無形)	連結	320	273	709	287	247	313	301	855	312	772	225	443
	単体	36	79	146	38	101	53	30	176	79	81	73	109
減価償却費	連結	355	326	324	372	308	322	332	338	326	421	411	435
	単体	122	102	122	104	104	96	97	83	106	98	101	103
研究開発費	連結	106	100	140	163	122	106	136	126	165	164	220	319
	単体	102	96	129	124	89	76	111	100	135	132	214	315

基本方針：「内部留保の充実」と「業績に応じた利益還元」

23年3月期の配当金

- 中間配当：23円（普通配当12円 + 特別配当11円）
- 期末配当：20円（普通配当12円 + 特別配当8円）

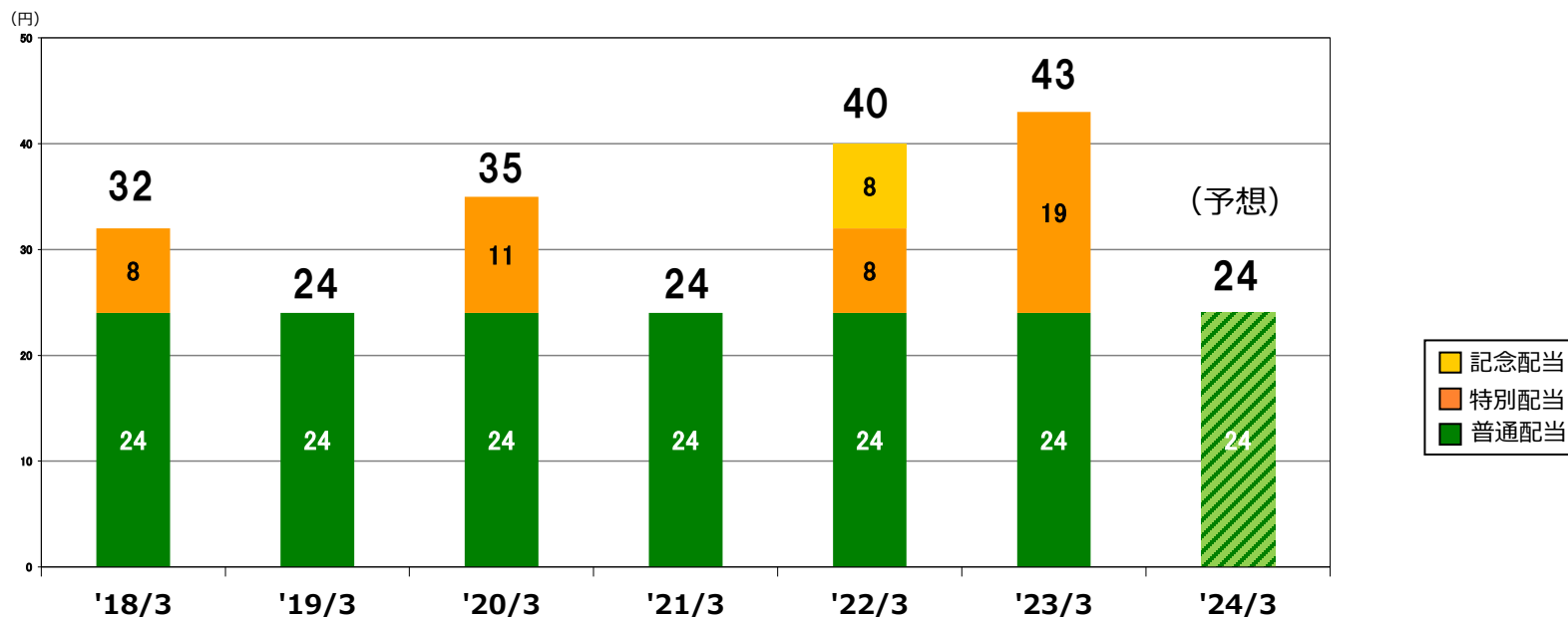
年間配当金：43円（普通配当24円 + 増配19円）

24年3月期の配当金（予定）

- 中間配当：12円（普通配当）
- 期末配当：12円（普通配当）

年間配当金：24円

〔年間配当金の推移〕



各事業の状況

■官公庁・自治体：行政のデジタル化推進

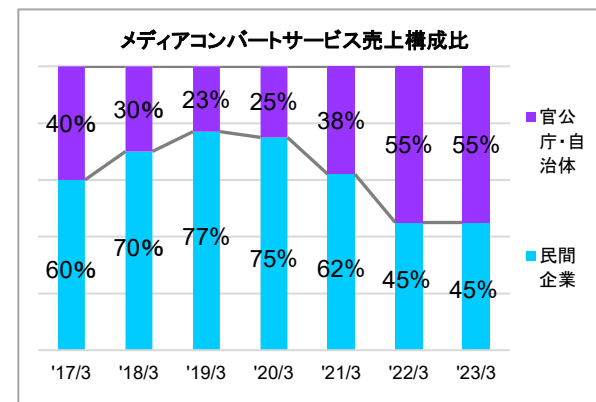
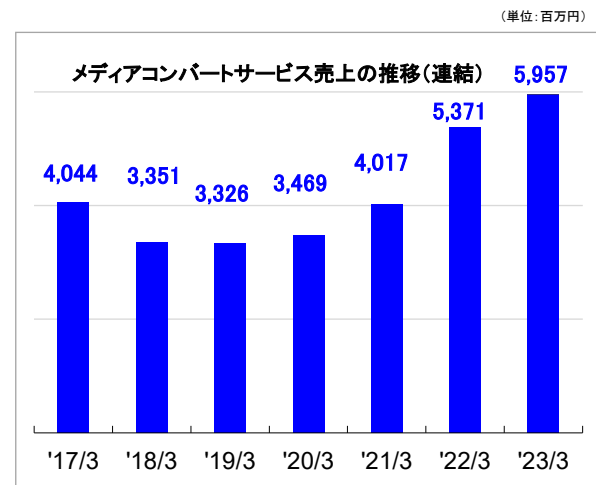
- デジタル都市国家構想により文書等のDX化が加速
- 図書館・自治体等でデジタルアーカイブ需要拡大

■民間企業：文書や資料の電子化需要拡大

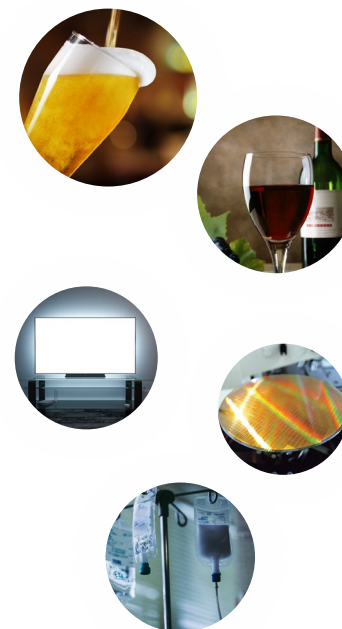
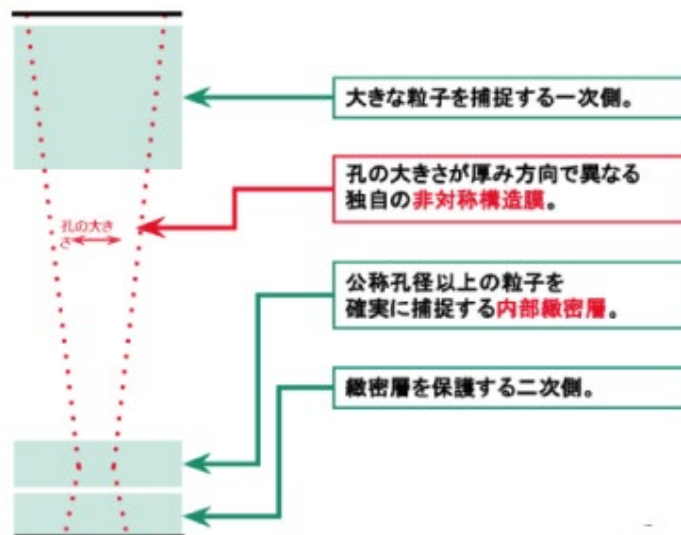
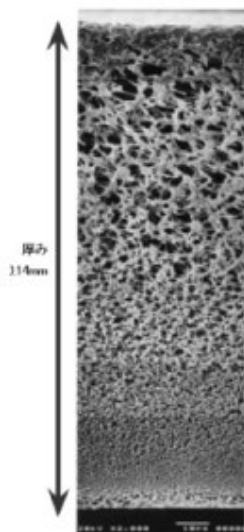
- DXに向けた電子化需要
- マイクロフィルムの電子化

メディアコンバートサービスの強み

- 高品質の加工処理
- 元資料に対する万全なセキュリティ管理
- 高い生産性・・・国内最大のイメージングセンター



■独自の非対称膜構造で微粒子の確実な捕捉とロングライフを実現



■販売状況



◆さまざまな厚みに対応する多目的インクジェットプリンター

ブランドオーナー向け、次世代プリントソリューション

今までにない、多種多様な材料に出力が可能

ピザ Box、ランチ Box、たまごパックをはじめとするダンボール素材、紙袋、和紙、不織布、木箱など様々な素材や高さがある成型済素材への印刷が可能



木箱



ペーパーバック



段ボール箱



T3-OPX

新紙幣発行への対応

2024年上半期に新紙幣が発行される予定



- 対象：金融市場、流通市場など
- 製品の更新需要
- ソフトウェア変更に伴う保守売上増加



紙幣整理機



精算管理システム



現金収納機

『業務管理ソフト』が自治体情報システムの標準化に準拠

- 自治体システムの標準化に準拠し、選挙の管理業務のさらなる効率化に貢献

デジタル庁が推進しているDX化に伴い、総務省などが自治体情報システムの統一・標準化を進行



2025年度中に各自治体がシステム移行予定

住民基本台帳関連業務の4システムを標準化

【名簿管理システム】

【期日前投票システム】

【当日投票システム】

【在外投票システム】



『業務管理ソフト』